

手洗いキャビネット(OLS-28-8A) 取扱・組立説明書

このたびは弊社製品をお買いあげいただき、まことにありがとうございました。ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管し、必要なお読みください。

安全上のご注意 必ずお守りください

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し説明しています。

⚠ 警告 …人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容	🚫 …してはいけない「禁止」の内容です。
⚠ 注意 …人が傷害を負う可能性及び物質損害のみの発生が想定される内容	🛑 …必ず実行していただく「強制」の内容です。

- 警告**
- 修理技術者以外の人は絶対に分解・修理・改造はしない 水栓、排水管より漏水する恐れがあります。
 - 浴室など水がかかったり、湿気の多い場所には設置しない 火災や感電の原因になります。商品本体・ネジ類の腐食により、落下してけがや死亡の原因になります。
 - 定期的にネジのゆるみを点検し、必要に応じて増し締めする

- 注意**
- 手洗いボウルの上に乗らない。また、キャビネット等(扉・棚・取っ手・化粧キャビネットの天板等)につかまったり、もたれたり、乗ったりしない 製品が破損してけがなどの原因になります。
 - 扉が傾いたりガタついている場合は、扉の調整やつけ直しをする 扉が外れ、落下によりけがなどの原因になります。
 - 商品がガタついたり破損や故障した場合は、ただちに使用を中止し、修理を依頼する 使用を続けると、より大きな損害を引き起こしたり、けがなどの原因になります。
 - キャビネット類の棚に品物を過剰に乗せない 製品が破損・落下してけがなどの原因になります。※耐荷重は10kg以内です。耐荷重は棚や洗面化粧台の底面に平均的に物を乗せた場合の値です。
 - 油類・溶剤・強い洗剤を使用しない
 - ・排水口にシンナー等の有機溶剤や薬品を流さない 排水部材が破損し、漏水する恐れがあります。
 - ・除光液やクレンジング剤等の化粧品・整髪料・芳香剤・洗剤等が付着したまま放置しない 化粧品や洗剤の中には樹脂に悪影響を与えるものもあります。放置するとヒビ割れや変形が発生して商品が破損し、けがや漏水を引き起こす恐れがあります。すぐに拭き取ってください。
 - ・洗剤類、薬剤はそれぞれの「使用上の注意」に従い使用する 誤った使用により商品が変形・破損し、けがなどの原因になります。
 - 固形または粉末の塩素系洗浄剤や漂白剤をつかたり、近づけたりしない 金属やゴムを腐食・劣化させ、漏水する恐れがあります。
 - キャビネット内に塩素系、酸性の薬品・洗剤類を保管する場合は、保管方法に注意する 腐食性ガスが発生すると、丁番のサビや扉の開閉動作不良の原因になります。塩素系、酸性の薬品・洗剤類を保管する場合は、キャップを確実に締めてください。キャビネットや容器に付着した場合は、すぐに拭き取ってください。
 - 包装資材は、お住まいの地域の自治体のルールに従って廃棄してください。

使用時のご注意 故障をおこさないためにお守りください

- 注意**
- 手洗いボウルに急に熱湯を注がない 破損する恐れがあります。常温の水をためてから注ぐこと。
 - 直射日光に当てない 変色の恐れがあります。必ずカーテン等で遮ってください。また、スポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。
 - 火のついたタバコやマッチ等を置いたり、近づけたりしない 焦げ跡がつく恐れがあります。
 - 重いものや硬いものを落とさない キズ・ヒビ割れの原因になります。
 - 金属類(ヘアピン・カミソリの刃等)を放置しない サビが付着して取れなくなる場合があります。
 - ぬれたまま放置しない 木が水を含み、いたみの原因になります。
 - 手洗いボウル内では刃物や先端が鋭い物を使用しない 表面にキズが付く恐れがあります。
 - 吸盤付きタオル掛け、吸盤付き石けん置き等を使用しない カウンターやキャビネットに吸盤を貼ると、貼った周辺が変色する恐れがあります。
 - カウンターや手洗いボウルに直接石けんを置かない。ハンドソープ容器や受け皿の下をこまめに拭き取る 石けんカスを長時間放置すると、カウンターが変色したり、光沢がなくなる恐れがあります。
 - 吐出する際は、水栓のハンドルを急に操作しない 水がはねてキャビネットや衣類、家財等をぬらす財産損害発生の恐れがあります。
 - 工事完了後、給排水管から水漏れがないか確認する 水漏れて家財等をぬらす財産損害発生の恐れがあります。

長くお使いいただくために

- 注意**
- お湯を使用しているとき、また使用直後はキャビネット内の給湯側の金属部分に直接触れない ※やけどをする恐れがあります。

お手入れ方法

(お願い)

- お手入れの際、次のものは使用しないでください。
 - ・シンナー等の有機溶剤や薬品、除光液、オレンジオイル配合の洗剤 ※樹脂(プラスチック)表面にヒビ割れや変形が発生する場合があります。
 - ・酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤 ※金属部がサビたり、表面が変色する恐れがあります。
 - ・研磨力の強いクレンザーや固いナイロンスポンジ ※キズがつく場合があります。
- お手入れに使う布はやわらかいキレイなものを使用してください。 ※古い固くなった布やトイレトペーパーを使うとキズがつく場合があります。

キャビネット本体

- 週1回のお手入れ** やわらかい布に住宅用中性洗剤または100倍程度に薄めた食器用中性洗剤をつけて、汚れをふき取ります。
- お願い** ぬれたままで放置しないでください。 ※木が水を含み、ふくらんだり、表面がはがれる恐れがあります。
- ワンポイント** ●表面にツヤがある扉のお手入れ 表面にツヤ(光沢)がある扉は、洗剤を付けたやわらかい布で軽く叩くようにして汚れを吸い取ってください。 ※強くこすると、細かいキズが付く場合があります。
- すき間のお掃除 カウンターとキャビネットやミラーキャビネット等のすき間には、水アカや汚れが溜まりやすいので、綿棒や柔らかい毛の歯ブラシ等で汚れをかき出してお掃除してください。

手洗いボウル

- 週1回のお手入れ** 浴室用中性洗剤または100倍程度に薄めた食器用中性洗剤をつけたスポンジで手洗いボウル内を軽くこすった後、洗剤を洗い流します。 ※メラミンスポンジは使用できますが、泡が立たず摩擦が大きいため、洗剤でのお手入れに比べると表面の光沢が劣化しやすいので、使用される場合は、強くこすらないでください。 また、水栓等の印字部分が消えてしまうため、使用しないでください。
- 手洗いボウル内の主な汚れは水アカや石けんカス等です。浴室用中性洗剤はそれらの汚れに適した成分が配合されています。
- ガンコな汚れは…** 浴室用クリームクレンザーをつけ、汚れをやさしくこすり落とします。 ※こすりすぎると表面にキズがついたり、ツヤが出すぎて変色する場合があります。 確認しながらご使用ください。
- 浴室用クリームクレンザーはキッチン用のものに比べて粒子が細かくキズがつきにくいので、人工大理石(ポリエステル樹脂)製洗面器のお手入れに適しています。
- ワンポイント** 落ちにくい汚れやもらいサビは、強くこすらず、浴室用クレンザーをつぎ足しながら、こすっては水洗いを繰り返し、少しずつ落とすのがコツです。

- 外形寸法(約)：幅405×奥行223×高さ860mm
- 材 質：手洗いボウル/人工大理石、キャビネット/MDF

耐荷重(静荷重) **最大 10 kg**

JAN : 4920501043527

■取り付け方 ※取り付けする壁面の中に電気やガス等の配管がないことを確認の上、お取り付けください。

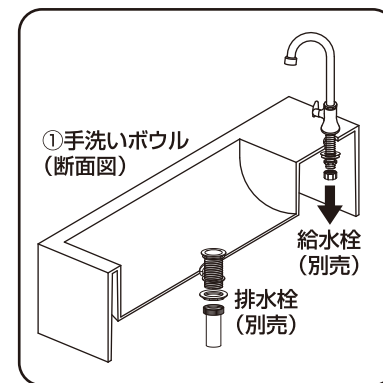
〈パーツリスト〉

- ①手洗いボウル ×1
- ②キャビネット ×1
- ③取っ手 ×1
- ④取っ手用ネジ ×2
- ⑤壁固定用木ネジ(φ4.7×45mm) ×2

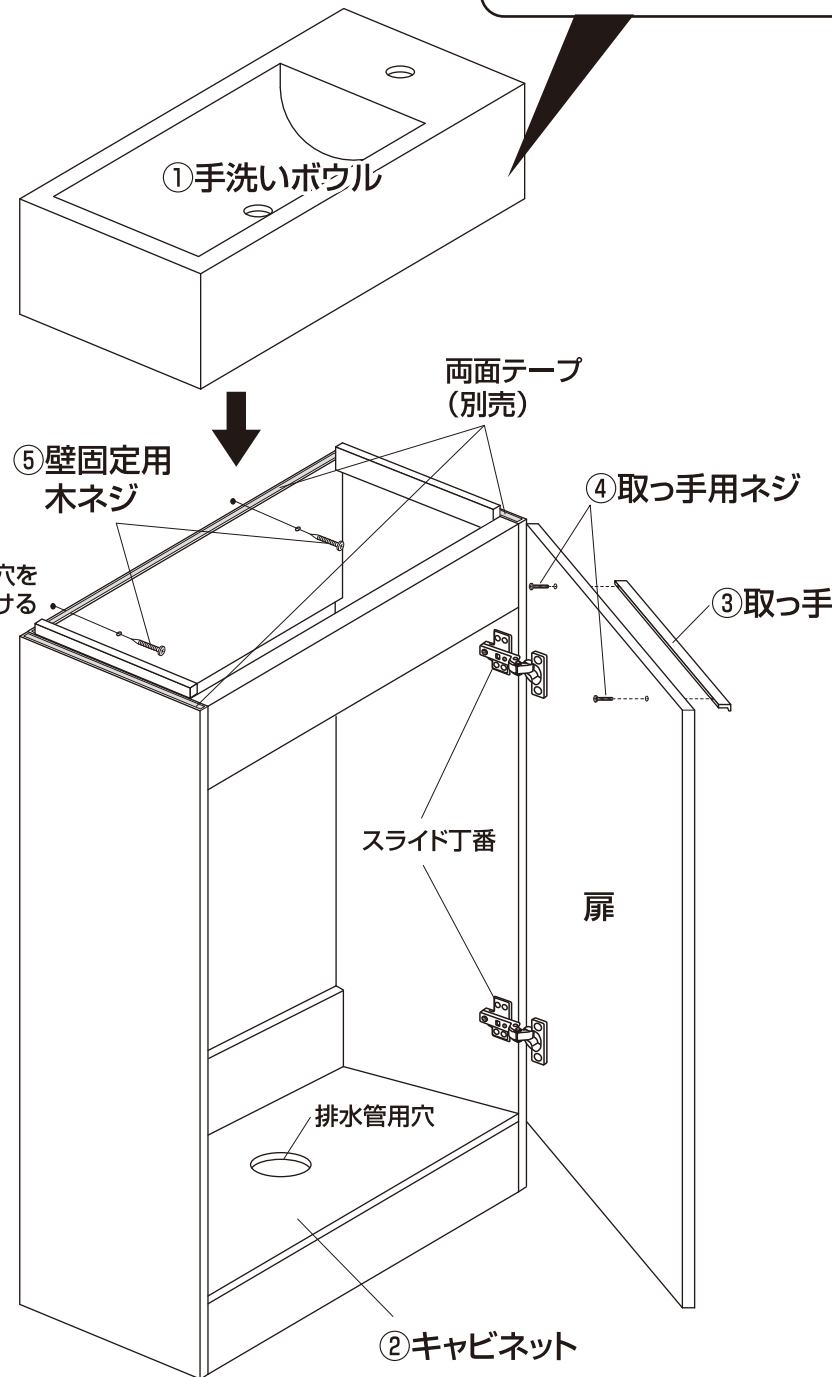
〈用意するもの〉

- 電動ドライバー
- ドリル
- 厚手の両面テープ

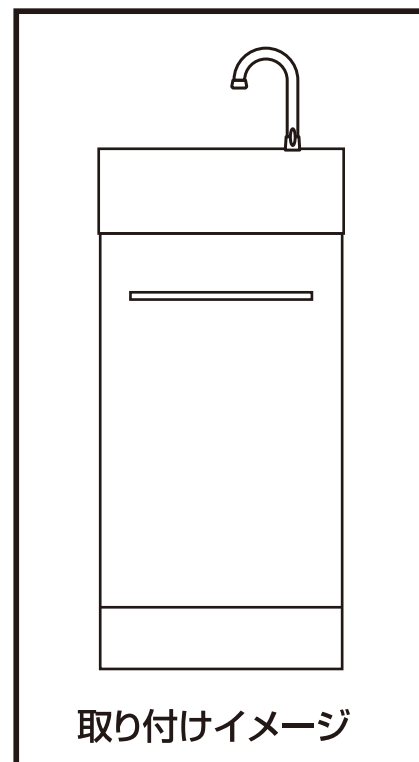
排水栓取り付けイメージ図



- 1 ②キャビネットの扉に③取っ手を④取っ手用ネジで取り付けます。(梱包時は取っ手が内側に取り付けられているので、外側に付け直してください。)
- 2 取り付け位置の壁に下穴をあけ、②キャビネットを⑤壁固定用木ネジで取り付けます。
- 3 ②キャビネット天面に厚手の両面テープ(別売)を貼り、①手洗いボウルをセットします。
- 4 給水栓、排水栓及び管(別売)を取り付けてください。



注意
必ず強度のある壁に取り付けてください。(石膏ボード等の壁の場合は必ず下地を補強してください。)
壁自体に強度がない場合は厚さ12mm以上の合板(JAS規格相当)に取り付けるか、30mm以上の補強木を設けてください。



取り付けイメージ

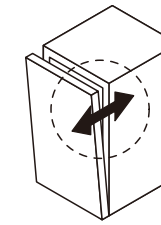
※水栓は別売となります。

■扉(ドア)の調整方法(扉がズレたり、すき間がある場合)

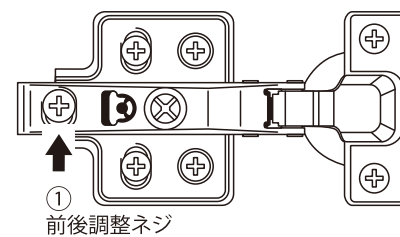
※調整は、扉を開いた状態で行います。
※調整には、必ず手回しドライバーを使用してください。

●扉の前後調整方法

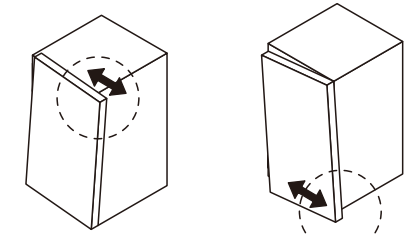
※1枚の扉には、スライド丁番が2か所ついていますので、交互にネジをまわして調整してください。



①の前後調整ネジをドライバーでまわしながら調整します。



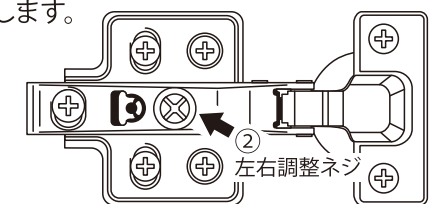
●扉の左右調整方法



※扉の上部がズレる場合は、上部の丁番を調整します。

※扉の下部がズレる場合は、下部の丁番を調整します。

②の左右調整ネジをドライバーでまわしながら調整します。



■商品寸法 (単位: mm)

※商品製造上の都合により寸法誤差が生じる場合があります。

